

【タイトル】

社会的変容を意識した成長モデルの考察

【概要】

グローバルレベルで吹き荒れた「コロナ禍の嵐」は、これからの社会にニューノーマルを求めているが、表面化した社会的課題は新たに生まれたものではなく、潜在的に抱えていたものが顕在化しただけという指摘がある。この指摘が意味するのは、これらの社会的課題はもはや先送りができない状態になった、ということであろう。「世界的変革」を目的とするSDGs（持続可能な開発目標）は「あらゆる組織が社会的課題の解決に取り組みながら持続可能な経済成長を果たすためのイノベーションを実現する」考え方に根差しているが、ニューノーマルはこうした取り組みをさらに加速化させていくだろう。その中で、パーソナルファイナンスはどのような社会的役割を示しながら成長モデルを構築していけるのか、検討を深める必要がある。諸外国に比べ歪なインフラ（法的枠組みに伴う事業基盤）を嘆くのではなく、本来あるべき姿からのバックカスティング思考が求められている。